

小島南自治会

ふれあい自治会報 第39号

平成28年8月吉日

自治会長：鳥羽幸夫
副会長：曾根・高橋・武田・仙波
会計：西野、（広報）菅原

夏本番・熱中症に注意を！！ (環境省広報紙による)

こんな日は熱中症に注意



こんな人は特に注意



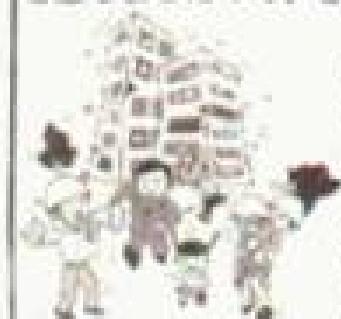
熱中症の予防例です



特に、児童・高齢者は体温調整機能が弱いので、急に暑くなった日や暑い中で活動する時は充分注意する必要があります。また、熱中症を疑う症状が生じたら即ち救急隊または医療機関へ通報して下さい。

「自主防災リーダー養成講座」に参加してきました (鳥羽)その1

埼玉県主催の「自主防災リーダー養成講座」が、7月30日(土)にセルディ(埼玉文化会館)で開催され、当自治会の自主防災隊の担当役員として受講してきました。自治会や地域に求められている課題等を感じましたので、とりまとめご報告致します。



一例として、阪神淡路大震災では崩壊した家屋に閉じ込められた、被災者の約8割が近隣の住民によって救助され、消防・警察・自衛隊が救助したのは約2割と報告されておりました。如何に近所付き合いが大事かを痛感してきました。

最近は「向こう三軒四隣」の付き合いが少なく連帯意識も希薄になってきているように感じます。自治会活動の活性化を図り何時起こるかわからない「災害」に対処出来るような「近隣の付き合いの出来る機会を多くする」取り組みを進めて行きます。自治会員の皆様方の一人ひとりのご協力・ご賛同を宜しくお願い致します。

＜3つの視点から対策を考える＞

自助：自分の身、家族の身を守る…家具の固定・防災備品の備え

共助：自分達の地域は自分で守る…地域内での助け合い

公助：本庄市や消防機関などの救援・救助…活動状況に关心を持つ



「ゴミ収集所」の利用世帯調査

当町内には、計32ヶ所のゴミ収集所がありますが、その収集所の維持管理の仕方はそれぞれ異なっております。

この春、当たり前に長年使用していた収集所が地主様の意向により使用出来ない事態になりました。その時、大変苦労したのは利用世帯の把握と新たな候補地を見つける事でした。

現在は、利用世帯で候補地番号を決めて維持管理していく事で、この教訓を受け、他の収集所でも利用世帯の把握を行いつつ、維持管理が出来るようになって行きたいと考えております。

後日、調査方法等についてお知らせ致しいと思われますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。

小島南自治会 環境衛生推進員

下期の行事予定

主な行事予定は、下記の通りです。

く記く

9/1/3(火)：鳥南ふれあい歌老会

つきみ狂(75歳以上)

10/1/6(日)：第32回ふれあい運動会

神電気(株)グランド

11/1/3(日)：種やかな見守り活動

12/2/28-30：年末特別警戒パートナード

1/17(土)：ふれあい新年会

埼玉ドーム新日本庄

詳細は、別途ご連絡致します